



蘆花恒春園をご利用いただきありがとうございます。

残暑厳しい季節ですが、公園を楽しんでいただけていますでしょうか。引続きお出かけの際は暑さ対策をお願いいたします。朝晩の涼しい時間帯にお越しいただくのもおすすめです。

園内の状況

恒春園・墓所



八幡神社前の
ヒマワリです
ようやく
咲き揃いました

花の丘



花の丘の
ヒマワリも
まだ
頑張っています

今月の予定 (詳しくはサービスセンターまで)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1(日) 花の丘フェスタ・パークライブ | ⇒ 「ひまわり祭り」でしたが雨のため中止に |
| 7(土) 第32回蘆花文学セミナー | ⇒ 今年度3回目。今からでも参加できます |
| 8(日) ガイドツアー | ⇒ のんびりツアーに良い季節になりました |
| 21(土) 蘆花忌 | ⇒ 徳富蘆花を偲ぶ集いです |

先月の出来事

- ~31(土) セミのぬけがらくらべ ⇒ 暑い中ご協力ありがとうございました

コラム~職員のおすすめ花日記~



縹色はなだいろ ツユクサ
(学名: Commelinacommunis)
ツユクサ科ツユクサ属
東アジア原産の一年草

透明感のある青色の花が印象的で、蘆花も『みみずのたはごと』の中で「つゆ草の其れに優した美しい碧色を知らぬ」と述べ、その青色を愛しました。

英語名「Dayflower」の通り、一日花です。古来から染料として使われ、日本の伝統色「縹色」(はなだいろ)の元ともなりましたが、色落ちしやすいことでも有名です。

「つき草、うつろひやすなるこそうたてあれ」『枕草子』(ツユクサが色あせやすいのはいやなものだ ※つき草=ツユクサの別名)

縹色の染料としては色落ちしにくい藍に代わっていましたが、色落ちしやすさを利用して友禅染の下絵に使われるようになりました。まさに適材適所!

蘆花恒春園豆知識(蘆花記念館 其の1 展示構成など)

明治・大正期の文豪について、専門の研究者のみならず一般の文学愛好者の期待にも応えるべく昭和34年に設立され、非公開の所蔵品倉庫と展示スペースからなります。展示構成は、入館して正面のパネルは時々の関連事項を展示し、現在は「徳富愛子生誕150年記念企画展」を開催しています。右側から「蘆花年譜」があり1868年の生誕から1947年葬儀・埋葬まで詳細に記録されています。

次に①永遠の求道/人格形成・思想の発展 ②耕して書く/自然への回帰・晴耕雨読の2大分類として、生い立ちから同志社時代、トルストイとの出会いから粕谷移転までの経緯・変遷が分かり易様に時系列的な展示になっています。奥には「蘆花その人となり」という題目で夫妻・愛子夫人のコーナーがあり、衣類やカメラ、弓、鏡台など趣味嗜好が想像できる展示品が確認できます。更に夫妻が旅行した際の土産品や日常の愛玩品もケースに収められています。

その他

- ・園内の樹木剪定・草刈等を順次進めております。また園内の補修工事も実施予定、トイレが一時的に使用できないなどご不便をおかけする場合があります。安全第一で作業しますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。
- ・ドッグマナー(フン持帰り、車止めへのオシッコ禁止)にご協力をお願いいたします。



蘆花恒春園サービスセンター

- 住所: 〒157-0063 東京都世田谷区粕谷1-20-1
- TEL: 03-3302-5016



緑と水まちを豊かに
公益財団法人 東京都公園協会
Tokyo Metropolitan Park Association